

■更年期の皮膚病変

閉経前後に女性ホルモンの分泌が減少することによって、自律神経などのバランスが乱れ、身体的、精神的にさまざまな不調が起こることを更年期障害といいます。

その中でも、皮膚病変は、30代後半から出現することもあり、美容的にも気になります。

①両ほほに左右対称にシミが目立つようになった(肝斑)、②皮脂が増え、ニキビや吹き出物が出るようになった、③ヒゲが濃くなった、④髪にコシが無くなった、⑤頭髪が薄くなった、⑥ジンマシンが出やすくなった、⑥赤ら顔や毛細血管が目立つ

てきた、などはすべて女性ホルモンの減少によるものとされています。

ひとりで悩んでいないで、保険証を持って【はらクリニック】へ！

平成27年 10 月分

NAVI 通信原稿

はらクリニック

原 徹